

## 2 当初予算の主要な事業の状況

# 1 教育・文化

### 1 子どもの学びと成長を支える教育の充実

#### 奨学金貸付事業

10,553 千円

担当 総務学事課

経済的な理由により修学の機会がなくなることを防ぐよう、学資の貸付を行います。

平成24年度から、市内に一定期間居住することを要件とした奨学金の返還免除制度を導入しています。

#### こども相談室運営事業

8,066 千円

担当 総務学事課

家庭等で問題を抱えながら生活をしている子ども・保護者等に対し、幼児期から青年期まで一貫した相談を実施できる場所を提供するとともに、不登校の児童・生徒に対し、学習・生活面での支援を行い社会的自立への基礎を培います。

## 拡充 小・中学校管理運営事業 (大竹小学校プール建設事業)

118,430 千円

担当 総務学事課

老朽化している大竹小学校と大竹中学校のプール施設を解体し、大竹小学校に児童と生徒が共同で使用できる新たなプール施設を整備します。

令和4年度は、両校の現プールの解体工事を行い、令和4年度から令和5年度にかけて、新たなプール施設の建設工事を行います。

(小学校：108,170千円，中学校：10,260千円)

## 拡充 小・中学校教育振興事業 (ICT支援員配置事業)

10,000 千円

担当 総務学事課

児童生徒の情報活用能力を高め、多様な問題を解決できる能力の育成を目指すため、1人1台端末を授業等で活用しています。そのために必要となる教員のICT機器活用力の向上、機器の不具合への対応、情報セキュリティ対策の強化等のため、専門的な知識をもつICT支援員を配置します。

## 拡充 小・中学校教育支援事業 (オンライン学習通信費援助事業)

2,397 千円

担当 総務学事課

学習用端末を持ち帰り、家庭においても活用するために、通信環境未整備の世帯にモバイルWi-Fiルーターの貸出を行う（契約及び通信料は保護者負担）とともに、就学援助世帯等については通信費の一部を援助します。中学生とあわせて、令和4年度は新たに小学5・6年生も持ち帰り学習を開始します。

# 学習環境サポート・読書活動推進事業

12,823 千円 (小学校費)

7,042 千円 (中学校費)

担当 総務学事課

通常の学級に在籍する発達障害などのある児童・生徒へのサポートのため「学級支援員」を配置し、個に応じたきめ細やかな支援を行います。

学校図書館に読書や学習活動を支援する「読書活動推進員」を配置し、幅広い視野を持った心豊かな児童・生徒を育成します。

## 中学校教育振興事業 (英語力向上事業)

838 千円

担当 総務学事課

日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定の検定料を、市内の中学校に通う中学3年生を対象に全額助成(年1回)します。中学卒業までに取得する目標の級を定めることで、中学生全体の英語力の向上を目指します。

## 学校連携・子どもの居場所づくり事業 (放課後児童クラブ運営事業)

62,632 千円

担当 生涯学習課

放課後や長期休暇中などに、保護者が仕事などで昼間家庭にいない児童に対して、「放課後児童クラブ」において適切な「遊びの場」や「生活の場」を提供することで、児童の健全な育成と保護者の仕事と子育ての両立を支援します。

## 学校連携・子どもの居場所づくり事業 (放課後子ども教室事業)

3,000 千円

担当 生涯学習課

放課後、週末及び長期休暇中における子どもたちの有意義な活動拠点（居場所）を確保するため、地域学校協働本部が核となって地域や各種団体等と連携し、学校や公民館等を活用して様々な体験活動や学習機会の場を児童に提供します。

### 2 生きがいと創造性を育む生涯学習・社会教育の推進

## 新規 総合市民会館改修事業

1,958 千円

担当 生涯学習課

総合体育館 2階（武道場）屋上部分のトップライト周辺の防水機能劣化に伴い、防水改修等を行います。

### 3 まちへの愛着と誇りを育む歴史・文化の保存・継承の推進

## 文化財保護事業（文化財等普及啓発事業）

500 千円

担当 生涯学習課

市内の史跡等について、より多くの方に関心を持ってもらうとともに本市の歴史を学ぶ機会を提供するため、令和4年度は、岩国大竹道路建設に伴って出土した「亀居城跡妙見丸」の石垣の説明看板及び西国街道大竹路の案内板設置を、大竹市歴史研究会と連携して取り組みます。